



シリーズ：休日・夜間に救急受診 その前に...Vol.9

### AEDの正しい使い方について

9月は救急医療週間です。今回はAEDについて説明をします。

駅や公共施設などでAEDと書かれた箱を見かけることが多くなっています。AEDとは、Automated External Defibrillatorの略語で、日本語では「自動体外式除細動器」といいます。AEDは、突然心臓が止まって倒れてしまった人の心臓に電気ショックを与え、正しいリズムに戻し、救命するための治療機器です。突然心臓が止まってしまう「心停止」の原因として、心室細動や心室頻拍があり、これは、心臓の筋肉がけいれんを起こし、全身に血液を送れなくなる危険な不整脈のことです。心臓の血管が急に詰まる「急性心筋梗塞」や、ボールなどが強く胸に当たっておこる「心臓振とう」の場合にみられます。AEDを使うことにより、この危険な不整脈を治療することが可能です。日本全国で、このような心臓の発作により突然倒れて亡くなる人が1年間に約3万人もいるといわれています。倒れてからできるだけ早く治療を始めることが救命につながるから、急速にAEDが普及してきました。

AEDは平成16年7月から誰でも使用することが可能になりました。使い方も簡単です。まず電源のスイッチを入れてください。あとは、機械から音声での案内が流れますので、そのとおりにしてください。

い。心停止のすべてにAEDが有効というわけではありませんが、AEDを装着することで、電気ショックが必要かどうかを自動的に判断してくれます。電気ショックが必要でない場合にはAEDは作動せず、人工呼吸、心臓マッサージなどの処置をAEDが指示してくれますので、躊躇せず、積極的に使用してください。また、AEDを一度装着したら、医療関係者に引き継ぐまでは、AEDを剥がさずに、電源は入れたままにしておいてください。

なお、より正しくAEDを使用するためにはその使い方をあらかじめ知っておくことが望ましく、そのために、「AED講習会」が頻繁に行われています。一度参加してみませんか？

早期の治療開始で救える命があります！

市立長浜病院 外科、救急センター 東出 俊一 先生

### ◆がん患者サロンを開設します！

がん患者サロンは、患者様やご家族が、病気や心の悩みを語り合い、共有することで『ほっとできる・リラックスできる』場所です。どなた様でもご参加いただけます。ぜひ、お越しください。

●第1回患者サロン  
日時：9月10日(木) 14:00～  
場所：市立長浜病院 2階 講義室

問 市立長浜病院 がん相談支援センター  
(☎⑧2354)

### 「動脈硬化による足の血行障害について」



市立長浜病院  
心臓血管外科  
藤原 靖恵 先生

近年、糖尿病や高血圧、高脂血症といった生活習慣病の増加とともに、動脈硬化による病気が増加しています。動脈硬化とは、血管にコレステロールなどがたまり、血管が狭くなったり、血管が詰まったりする状態をいいます。この動脈硬化が

原因で起きる狭心症・心筋梗塞、脳梗塞は有名ですが、実は足にも動脈硬化は起こり、「閉塞性動脈硬化症」といった病気になります。この病気においてはまず、「足が冷たい、しびれる」「歩くときふくらはぎに痛みが出る」といった症状が出ます。休むと改善しますが、次第に歩けなくなり、ひどくなると指先から組織が死んでいき、下肢切断に至る場合もあります。治療方法は主に内服治療ですが、カテーテルで血管を広げる治療や、新たに血管をつなぐ手術治療が必要となる場合があります。動脈硬化は生活習慣病のほか、喫煙の習慣があるとさらに起こりやすくなります。

上記のような症状がみられたら、なるべく早い段階で禁煙し、受診していただくようお願いいたします。

## お知らせ

ト推してなめじ

★キラキラまぶしい子どもたち★  
放課後児童クラブ人権学習会  
「大切な仲間」

夏休みを利用して、市内の放課後児童クラブで、命の大切さや友達について考える人権学習会を開催しました。



人形劇のボランティアグループ(2団体)のご協力で、紙芝居や人形劇を見ながら、楽しい雰囲気の中で、学習が進みました。



真剣でキラキラした表情の子どもたち。  
この純粋でまぶしいばかりのエネルギーを、大切にしてほしいと願っています。

★友達になるにはどうすればいい？  
★クラスの中で友達が暴力をふるわれている。でも他の友達は知らんぷり。あなたのクラスでは、こんなことないかな？あなたならどうするかな？  
★友達関係など、もし生活の中で困ったことや悩んでいることがあったら、一人で悩まないで誰かに相談してね。  
このようなメッセージを子どもたちに届けながら、一緒に考えました。



同和問題は、生まれたところや住んでいるところによって、様々な差別を受けるといふ日本固有の人権問題です。

これまでの多くの人々の努力により、同和問題は解決の方向にあるものの、結婚や就労の問題を中心として、今なお差別意識が残っているのが現状です。

この問題を一日も早く解決するためには、世間体や偏見にとらわれず、私たち一人ひとりが正しく理解し行動することが大切です。



問 人権施策推進課  
(☎⑧6560 FAX⑧6013)

### 甲種防火管理講習会の開催について

【とき】10月29日(木)、30日(金)の2日間  
【ところ】長浜市民交流センター(地福寺町)  
【定員】100人(先着順)  
【受講料】5,000円(テキスト代)  
【受講手続き】  
○受付期間 10月1日(木)～  
○受付時間 8時30分～17時15分  
○受付場所 長浜消防署(平方町) 東浅井分署(虎姫町大字五村)

【その他】  
電話及び郵送での受付はいたしません。  
本人または代理人がテキスト代と印鑑を持参のうえ、直接申し込んでください。



問 湖北地域消防本部予防課 (☎⑧5194)

\*\*\*\*\*  
地域総合センター人権学習連続講座  
子育てハッピートーク  
テーマ「家庭の教育力向上をめざして」  
～子どもへの関わり方・家庭における教育のあり方を考える～  
◆2週連続全2回開催  
第1回 10月15日(木) 19時30分～21時00分  
『いつからでもやり直せる子育て』  
講師 池添 素さん  
(「らく相談室」室長、立命館大学・佛光大学非常勤講師)  
第2回 10月22日(木) 19時30分～21時00分  
『たくましい子どもを育てるための親の役割と食育の大切さ』  
講師 北川 治さん(元滋賀文教短期大学教授)  
【会場】姉川コミュニティ防災センター(西上坂町)  
【受講料】無料  
【定員】各講座50人程度  
【申込方法】電話、FAX、E-mailのいずれか ※1講座のみの申し込みもできます。  
【締切り】10月7日(水)  
申・問 地域総合センター (☎⑧5345、FAX⑧510、E-mail anegawa@city.nagahama.lg.jp)  
\*\*\*\*\*